

# 取扱説明書

# LINK GAUGE-X

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



## 目次

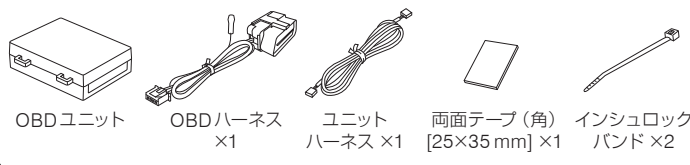
セット内容・警告・注意	1
特長	2
各部の名称とサイズ	2
メーターの種類	2
配線接続方法	3
基本動作	3
イルミ照明について	3
製品の固定	4
ピーク値の表示とリセット	5
センサー接続方法	5
別売ブーストセンサー装着方法	6
装着例	7
故障かな?と思ったら	8

## 内容物をご確認ください



## ⚠メーター動作にはOBDユニット(LOU)が必要です。

### OBDユニット(LOU)内容物



- ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。(センサー接続時を除く)
- 故障診断コネクタを利用する他社の製品とは併用できません。

- PIVOT製OBD装着製品の併用については、こちらをご確認ください。  
<https://pivotjp.com/obd/>



## 警告

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない  
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない  
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない  
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品固定や配線処理は確実にを行う  
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。



## 注意

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する  
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない  
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない  
故障の原因となります。
- 薬品類は使用しない  
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。  
アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- ネジ・部品は元の状態に戻す      ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

# 特長

## OBD対応の次世代型リンクゲージ！ 簡単装着 リンク式 薄型・ローポジション センサーも対応可能

### リンク接続でスッキリ装着

メーターを複数装着時にメーター間をリンク接続できるため一本の配線でスッキリとした装着となります。

### 薄型とローポジション

厚さは19mm（ベゼル部を除く）の薄型でメーターホルダーによる装着時は限りなくローポジションになることで視界を確保すると共に傾斜のあるフロントガラスの奥まで装着範囲が広がります。

### 穴開け不要で固定も可能

薄型のため穴あけせず背面に両面テープで固定することもできます。

### 高精度ステッピングムーブメント採用

メーター駆動はステッピングモーターによりハンチングやオーバーシュートのない素早いレスポンスと独自の回路で高精度表示を実現しました。

### オートピーク表示

エンジンが停止し車輻との通信が切れるとそれまでのピーク値を数秒間表示後リセットします。（油圧計のみ不可）

### マニュアルピーク表示

ピークスイッチ（別売）で走行中でもピーク値を確認できます。

### バッテリー上がり防止の低電流回路

暗電流1mAでバッテリー上がりと、動作電流も50mA（メーター1+ユニット）の低電流回路でクルマ側のトラブルを防止します。

### 広角調整可能なメーターホルダー

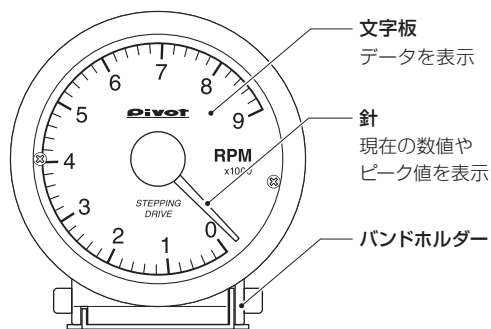
前に15°後ろに47°の広角調整で見やすい向きに設置可能。

### Aピラーへも装着しやすい

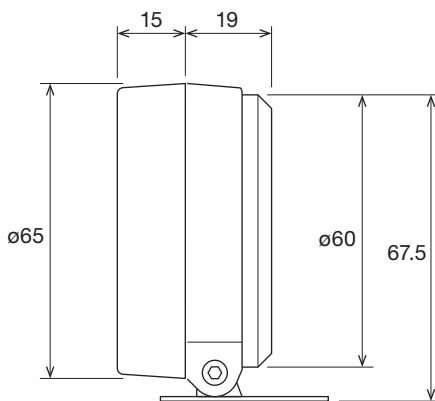
メーターは58gの軽量で薄型なためAピラーへも装着しやすくなりました。（必要に応じ要穴開け）

## 各部の名称とサイズ

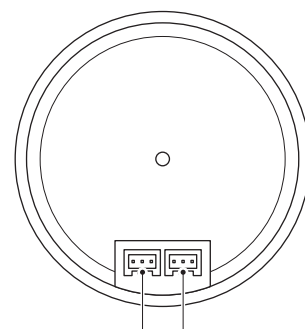
### メーター



イルミ ホワイト照明（文字・針） 表示中は常時点灯



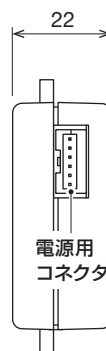
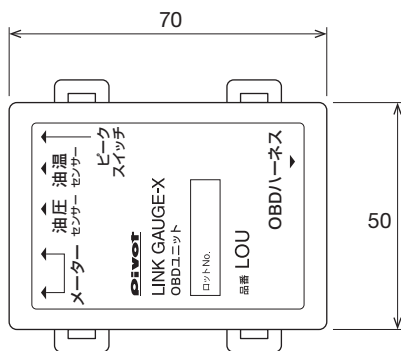
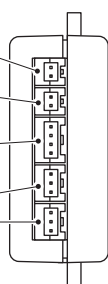
単位：mm



コネクタースケッチ (3P)  
接続は左右どちらでも可能

### OBDユニット

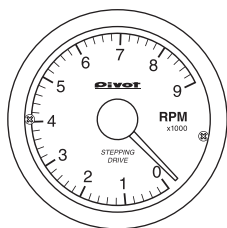
- ピークスイッチ用  
2Pコネクタースケッチ
- 油温センサー用  
2Pコネクタースケッチ
- 油圧センサー用  
4Pコネクタースケッチ
- メーター用  
3Pコネクタースケッチ



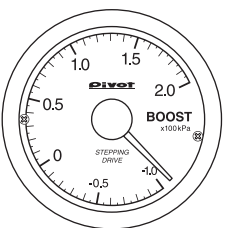
電源用  
コネクタースケッチ (6P)

単位：mm

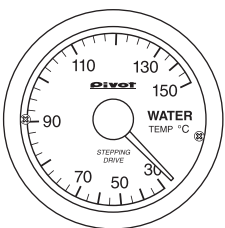
## メーターの種類



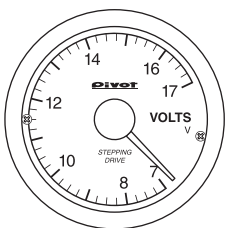
タコメーター  
LOT (OBDタイプ)  
0~9000rpm



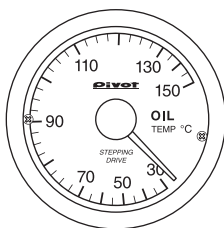
ブースト計  
LOB (OBDタイプ)  
-100~154kPa (OBD)  
-100~200kPa (センサー) ※1



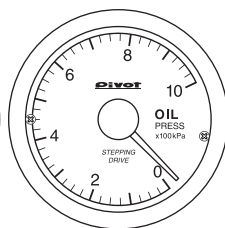
水温計  
LOW (OBDタイプ)  
30~150℃



電圧計  
LOV (OBDタイプ)  
7~17V



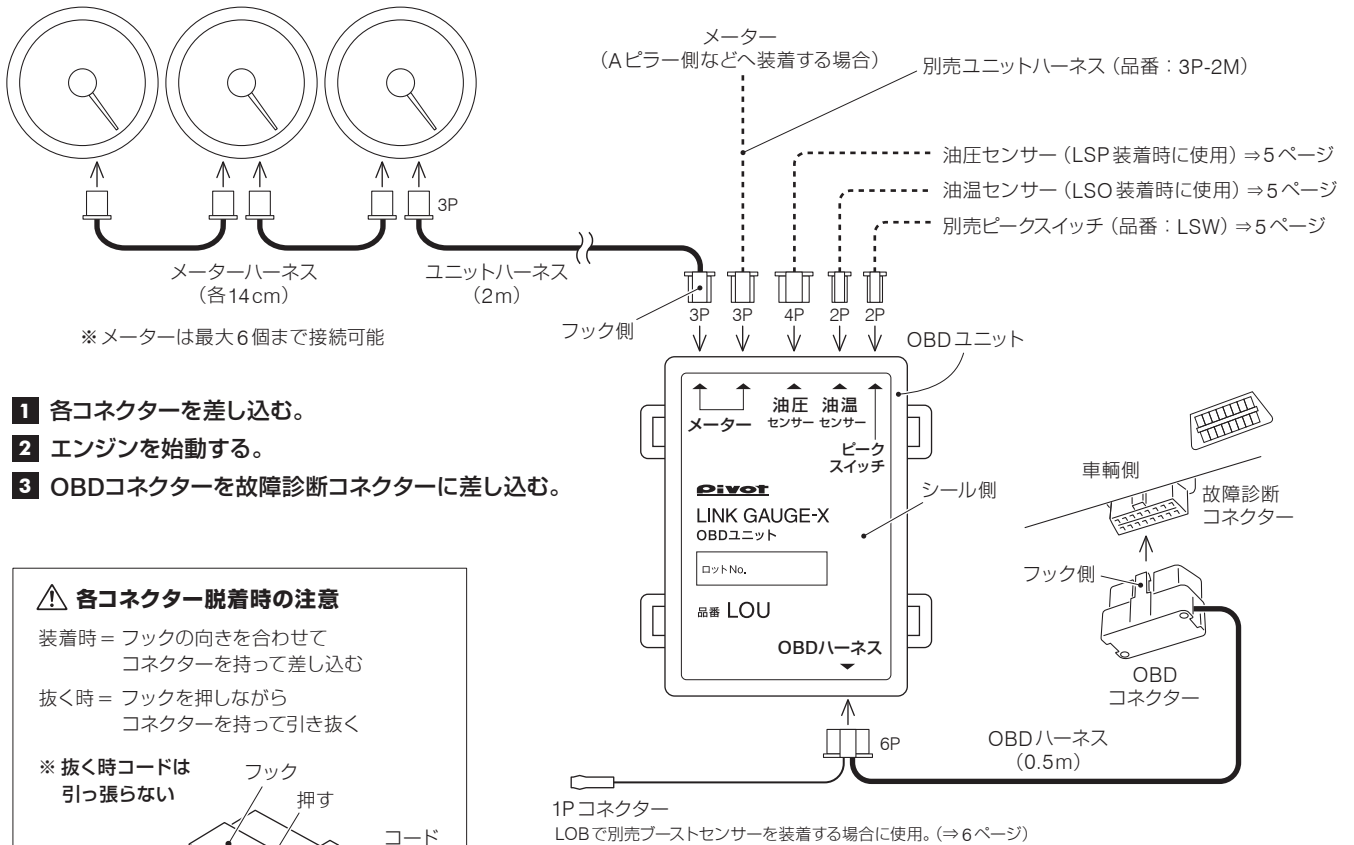
油温計  
LSO (センサータイプ)  
30~150℃



油圧計  
LSP (センサータイプ)  
0~1000kPa

※1 別売ブーストセンサー [XBS] 装着時。装着方法は6ページ参照。

# 配線接続方法



- 1 各コネクタを差し込む。
- 2 エンジンを始動する。
- 3 OBIDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。

**⚠ 各コネクタ脱着時の注意**

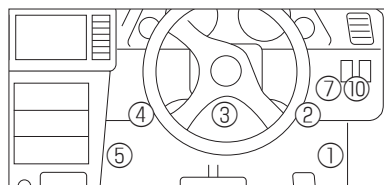
装着時 = フックの向きを合わせて  
コネクタを持って差し込む

抜く時 = フックを押しながら  
コネクタを持って引き抜く

※ 抜く時コードは  
引っ張らない

メーター  
背面のフック

## 故障診断コネクタ位置図

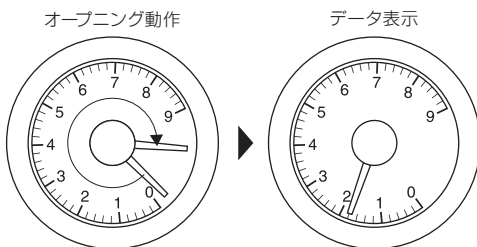


- |                         |                         |                       |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------|
| ① アクセルペダル脇              | ③ 運転席足元中央               | ⑤ センターコンソール右脇         |
| ② 運転席足元右側<br>(フタ付の場合あり) | ④ 運転席足元左側<br>(フタ付の場合あり) | ⑦ ステアリング脇パネル裏 (フタ付)   |
|                         |                         | ⑩ ステアリング右パネル (小物入れ上部) |

トヨタ	②③④	マツダ	②④⑩
日産	②③④⑦⑩	スバル	①②③④
ホンダ	②④	スズキ	②③④
三菱	④⑤	ダイハツ	②③④

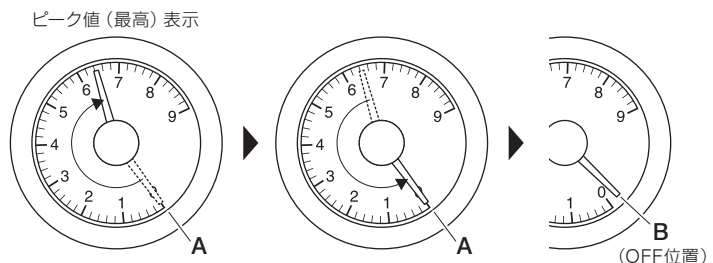
# 基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。



※ コネクタ装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。

エンジン停止 ▶ 針がAの位置からピーク値を数秒間表示。ピーク値表示後、針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にB (OFF位置) へ移動。



※ ピーク値はエンジン始動後の最高値です。(油圧計と電圧計は最低値)  
 ※ OFF位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。  
 ※ 油圧計のみピーク表示不可。ピーク値確認は別売のピークスイッチ (LSW) で可能。

# イルミ照明について

本製品のイルミ照明は夜間走行時の眩しさを抑える輝度に調整してありますが、装着場所によってはガラス映りする場合があります。気になる場合は位置を移動するか市販のメーターフードをご利用ください。なおメーターフードは弊社では販売していません。

# 製品の固定

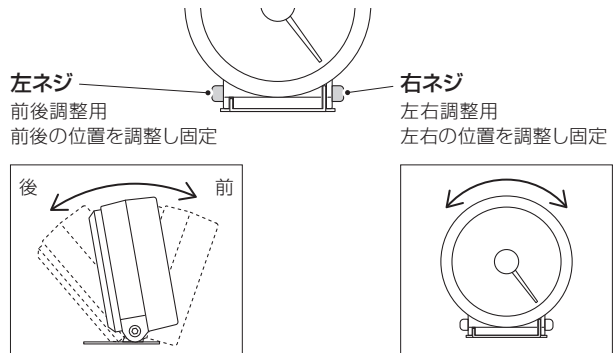
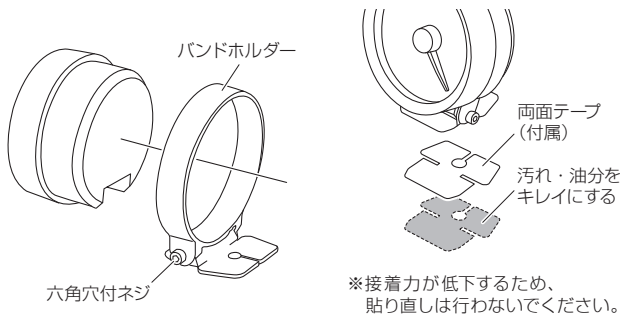
## メーターの固定

### バンドホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

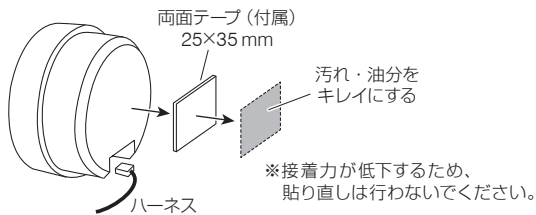
- 1 ネジをゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 2 両面テープで固定する。
- 3 メーターが前後・左右に軽く動かせる程度までネジを軽く締める。

※ 装着後窓を拭く時や、向きを再調整する時などのために、各ネジは強く締めず、メーターが少し動く程度に締めてください。



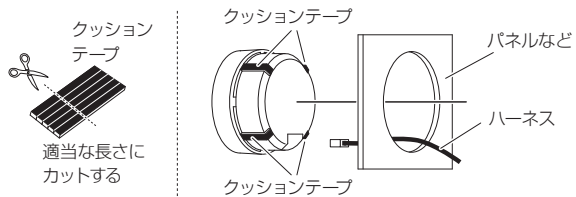
### 平面に両面テープで固定する場合

ハーネスを接続してから、両面テープで平面部に固定します。



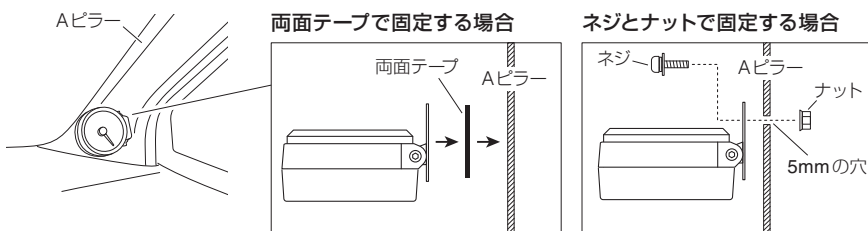
### パネルなどに埋め込む場合

クッションテープを適当な長さにカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、ハーネスを接続しパネルなどに差し込む。



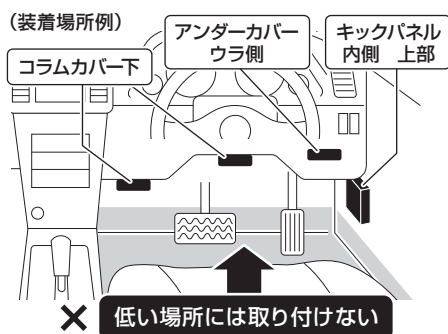
### Aピラーへ取り付ける場合

両面テープまたは5mmの穴を開けネジとナットで固定します。

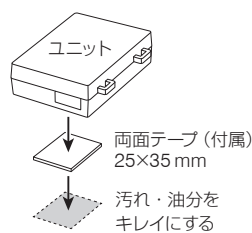


### ユニットの固定

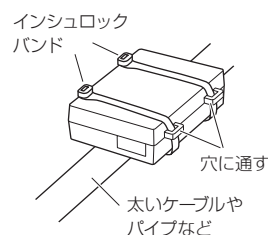
下図のような水のかからない場所に固定してください。



#### ● 平面に固定する場合



#### ● ケーブルやパイプなどに固定する場合

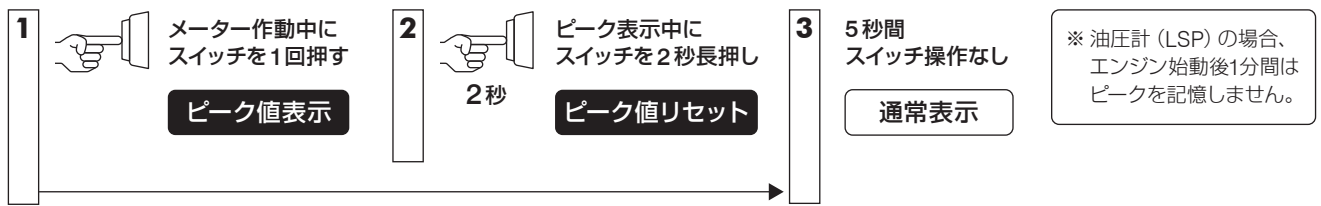


#### ⚠ 配線は束ねる

配線後のコードは、運転中に絡んだり、ドアなどに挟み込みショートしないようにテープなどで束ねてください。

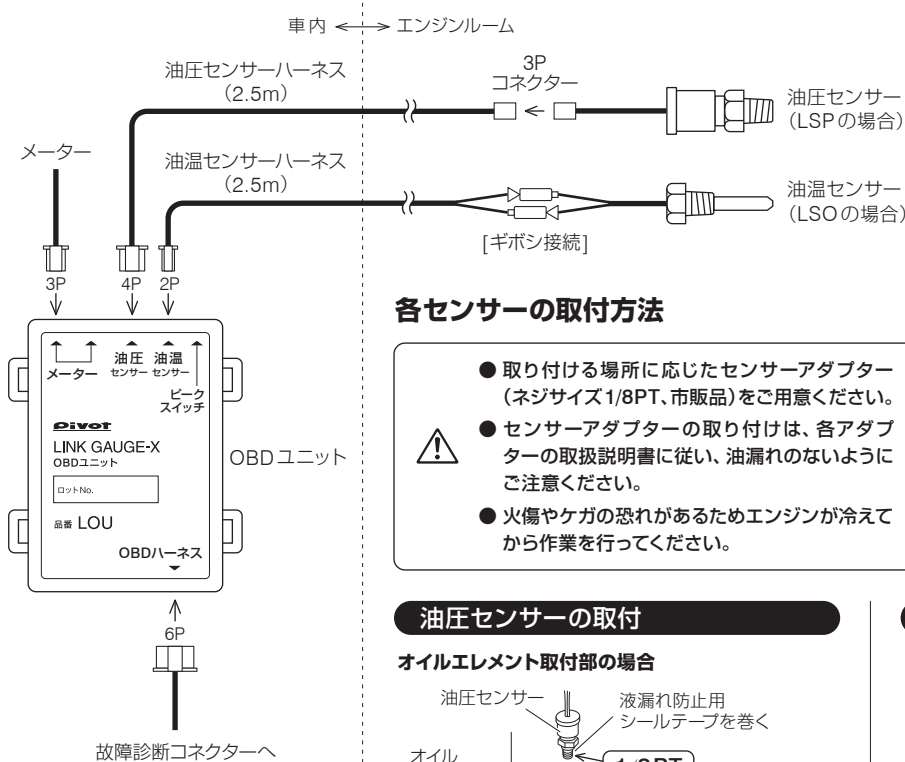
# ピーク値の表示とリセット 別売ピークスイッチ (LSW) を装着した場合

エンジン始動後のピーク値を表示します。 ※ ピーク値はキー OFF でリセットされます。



## センサー接続方法 油圧計・油温計を装着した場合

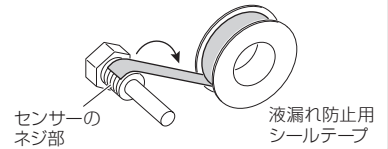
### 油圧センサー・油温センサーの接続方法



- 装着時に準備する道具と材料**
- ・ センサーアダプター (ネジサイズ1/8PT)
  - ・ シールテープ (液漏れ防止用)
  - ・ レンチ
- など

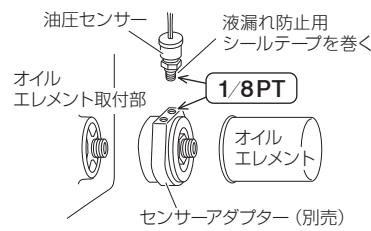
### 各センサーの取付方法

- 取り付ける場所に合ったセンサーアダプター (ネジサイズ1/8PT、市販品) をご用意ください。
- センサーアダプターの取り付けは、各アダプターの取扱説明書に従い、油漏れのないようにご注意ください。
- 火傷やケガの恐れがあるためエンジンが冷えてから作業を行ってください。
- 各センサーのネジ部には必ず液漏れ防止用シールテープを巻いてください。

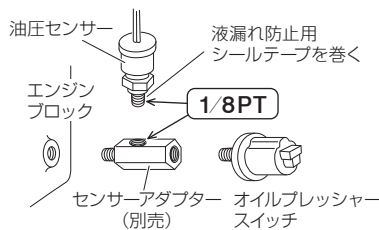


#### 油圧センサーの取付

##### オイルエレメント取付部の場合



##### オイルプレッシャースイッチ取付部の場合

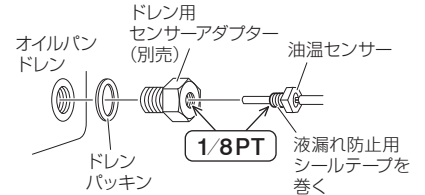


#### ※ スバル水平対向エンジンについて

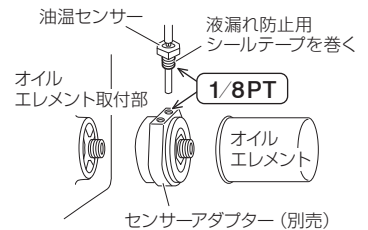
スバル水平対向エンジンの場合、オイルポンプにあるネジ穴を利用して油圧センサーを取り付けると圧力の脈動が大きく、センサーが破損する恐れがあるため、オイルエレメント取付部のアダプターを使用してお取り付けください。

#### 油温センサーの取付

##### オイルパンのドレンの場合



##### オイルエレメント取付部の場合



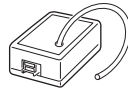
最低地上高の低いクルマや悪路を走行するクルマの場合、センサーが下方向に突起するような取り付け方をすると、地面等に接触し破損・故障の原因となりますので別の場所へお取り付けください。

## 別売ブーストセンサー(XBS) 装着方法

ブースト計 (LOB) で、ブースト圧を車輛センサーではなく、別売センサー (相対圧) により計測する場合。

**⚠ 安全のため、配線作業時はバッテリーの⊖端子を外してください。**

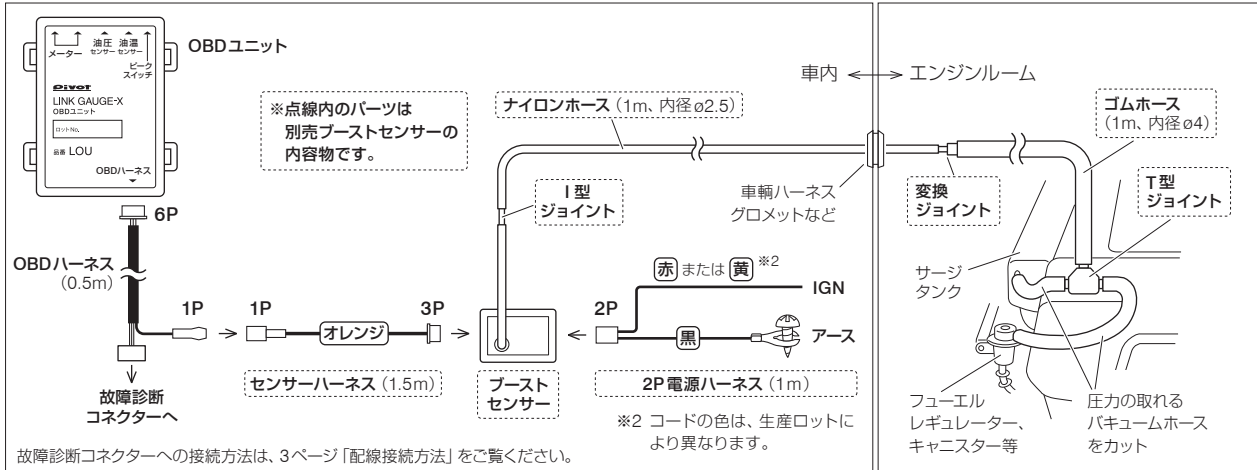
ブースト計 (LOB) は別売センサーを追加することで、サブコン使用時や相対圧による高精度な計測が可能です。



ブーストセンサー  
品番: XBS  
サイズ: 50×35×20 mm

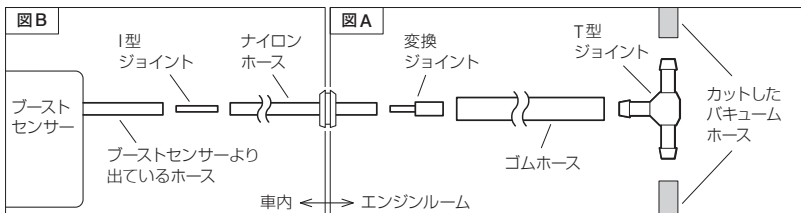
装着時に準備する道具と材料

- ・ニッパー
- ・圧着ペンチ
- ・絶縁テープ
- ・レンチ など



### ブースト配管

- ① エンジンルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出ている、圧力の取れるバキュームホースをカットする。(例: フューエルレギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- ② T型ジョイントを割り込ませ、図Aを参考に、各ホースとジョイントを接続する。
- ③ ナイロンホースを車輛ハーネスグロメットなどを利用して車内へ引き込む。
- ④ 引き込んだナイロンホースとユニットのホースをI型ジョイントを使用して接続する。(図B)



### ⚠ 装着に関するご注意

- ブーストセンサーは必ず車内に取り付けてください。(エンジンルームは不可)
- ブーストセンサーから出ているホースを引っばって抜かないでください。
- 車輛の圧力のとれるホースがφ4以外の場合は、車輛に合ったサイズのジョイントを別途ご用意ください。
- ホースやジョイントはそれぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないかなどをご確認ください。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をしてください。)

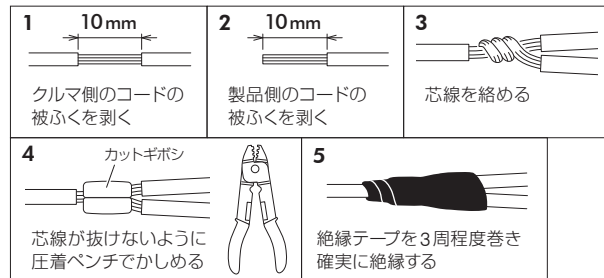
### IGN 赤または黄 ※2

キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(常時・ACC不可)  
※2 コードの色は、生産ロットにより異なります。

### アース 黒 アース端子付

アースが取れる金属部のネジに固定する。  
プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

### 【参考】カットギボシの使い方

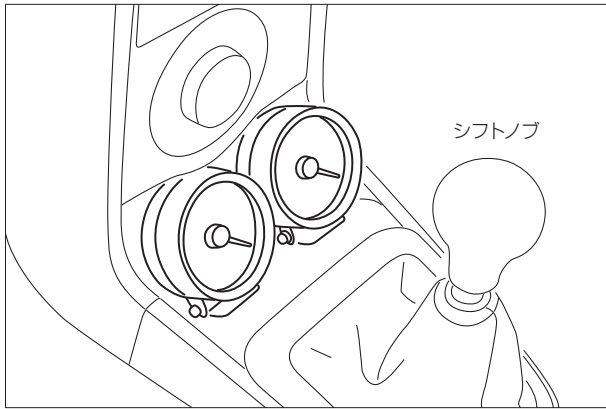


# 装着例

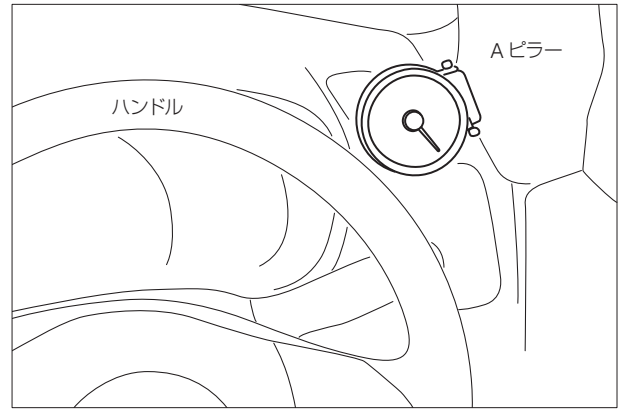
下記は一例でお好みの場所に装着してください

⚠ エアバッグの動作に支障を来す場所には設置しないでください。

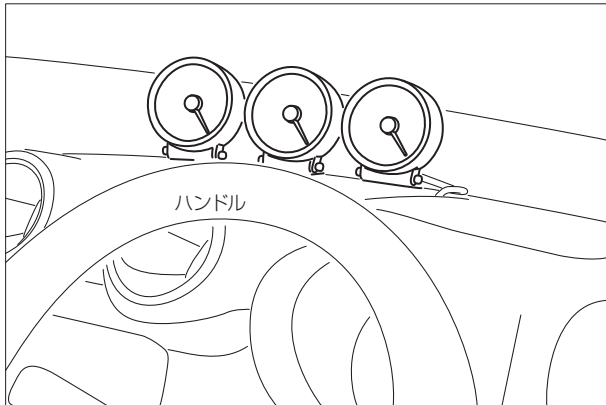
コペン (LA400)



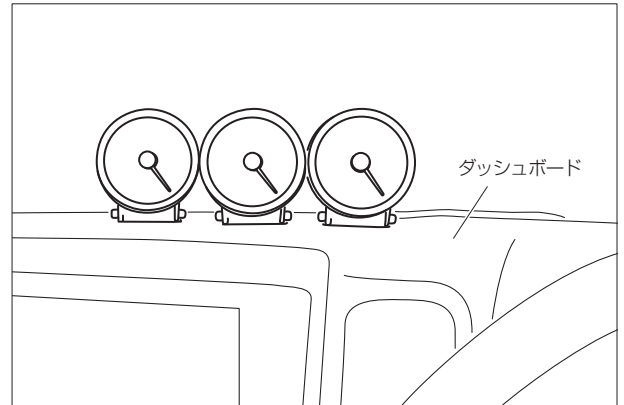
コペン (LA400)



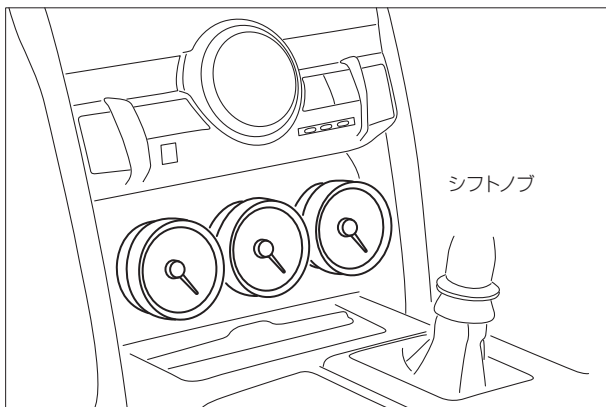
スイフト (ZD53S)



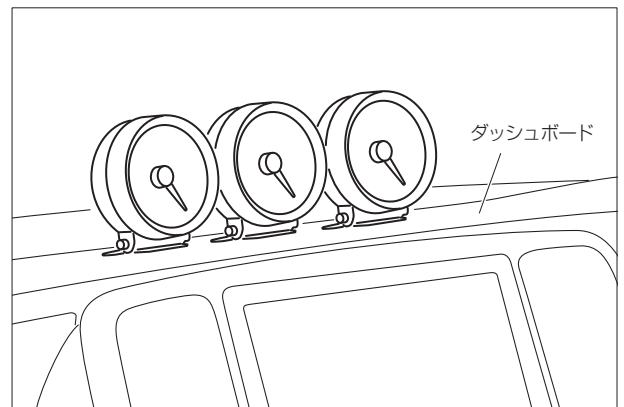
エブリイ (DA17)




マークX (GRX130)



N-ONE (JG1)



## 故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	<b>3Pコネクター</b> <b>OBDコネクター</b> の接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。 
油温計 (LSO) でオープニング動作はするが表示しない。	<b>油温センサー</b> <b>センサーハーネス</b> の接続不良または断線。	再度ご確認ください。
	<b>ピークスイッチ用2Pコネクター</b> に接続している。	再度ご確認ください。
油圧計 (LSP) でオープニング動作はするが表示しない。	<b>油圧センサー</b> <b>センサーハーネス</b> の接続不良または断線。	再度ご確認ください。
別売ピークスイッチ (LSW) を押してもピーク表示されない。	<b>油温センサー用2Pコネクター</b> に接続している。	再度ご確認ください。
表示が車輛メーターなどよりもズれる。	OBDタイプはECUの情報を表示しており、反応速度の違いで表示が多少ズれる場合がありますが、故障ではありません。	
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。
照明の明るさや色合いが製品ごと多少異なる。	LEDの個体差によるものです。	故障ではありません。

※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。  
 ※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。  
 ※ PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。